



大垣市政・経済記者クラブ 同時配布資料
岐阜県政記者クラブ加盟社 各位

令和7年4月25日(金)		岐阜県発表資料	
所属	担当係	担当者	電話番号
岐阜関ヶ原古戦場記念館	企画課企画連携係	成瀬・門脇	直通 0584-47-6070 FAX 0584-43-0420

【参加者募集】関ヶ原研究会情報発信事業 講演会『「定説」はいかに作られたか —関ヶ原本戦の布陣地の変遷を追う—』の開催

岐阜関ヶ原古戦場記念館（以下「記念館」という。）では、令和5年10月に発足した関ヶ原研究会の情報発信事業として、第1回「関ヶ原研究若手研究者支援事業」の支援対象者で、関ヶ原本戦の布陣情報の変遷を研究する小池絵千花氏による講演会を、下記のとおり開催します。

記

- 1 日 時 令和7年6月15日(日) 13時30分～15時(開場13時)
- 2 演 題 『「定説」はいかに作られたか—関ヶ原本戦の布陣地の変遷を追う—』
- 3 講 師 小池 絵千花 氏
(早稲田大学文学研究科博士後期課程在籍、日本学術振興会特別研究員)
- 4 内 容 現在「定説」として広く知られている関ヶ原合戦の布陣地について、合戦当時の史料、江戸時代の軍記物、明治時代の戦史研究と史跡整備活動の検討を通して、布陣情報の変遷を追い、「定説」がどのように形作られたのかを考察します。
- 5 会 場 記念館3階セミナールーム(関ヶ原町関ヶ原894-55)
- 6 定 員 100名 ※応募多数の場合は先着順
- 7 参加費用 無料(別途、記念館への入館料が必要です。)
- 8 申込方法 次の期間内に応募フォームまたは往復ハガキにてお申し込みください。
 - (1) 期 間 4月25日(金)～6月6日(金)
※往復ハガキは6月6日(金)必着
 - (2) 応募フォーム <https://sekigahara.pref.gifu.lg.jp/news/p6897/> (記念館公式HP)
 - (3) 往復ハガキ 〒503-1501 関ヶ原町関ヶ原894-55
岐阜関ヶ原古戦場記念館 企画連携係「小池絵千花氏講演会」担当者宛
※住所、氏名(ふりがな)、電話番号、申込人数を明記してください。
※往復ハガキ1枚につき、2人まで応募できます。
申込人数が2人の場合は、2人目の氏名を明記してください。

小池 絵千花 氏

(経歴)

1996年埼玉県生まれ。

2022年早稲田大学文学研究科修士課程修了。同研究科博士後期課程在籍。

日本学術振興会特別研究員。

歴史学研究会、地方史研究協議会、関ヶ原研究会に所属。

【論文】

- ・関ヶ原合戦の布陣地に関する考察（『地方史研究』411号）
- ・名古屋市蓬左文庫所蔵『太田和泉守記 全』の全文翻刻
（2020～2023年度科学研究費補助金基盤研究（A）研究成果報告書『戦国軍記・合戦図の史料学的研究』）
- ・関ヶ原合戦像の変遷とその背景-本陣の布陣を題材として-（第一回「関ヶ原研究若手研究者支援事業」成果論文集）



【関ヶ原研究会の概要】

- 目的 関ヶ原に関連する研究状況の発信、若手研究者の支援等を通じて関ヶ原研究を促進し、調査研究フィールドや観光地としての関ヶ原古戦場の魅力や関心を高める
- 設立日 令和5年10月14日
- 会長 小和田 哲男 岐阜関ヶ原古戦場記念館館長
- 会員 関ヶ原に関連する研究実績のある者（大学教授、歴史研究家、博物館学芸員等）
- 内容 関ヶ原研究の活性化に向けた各種取組みを実施
 - ①関ヶ原関連研究に関する情報発信
関ヶ原関連の最新研究状況・成果等を広く発信する講演会、討論会の実施
 - ②若手研究者の育成支援
関ヶ原研究若手研究者支援事業や若手研究者への研究発表機会の提供等の実施
 - ③学芸員ネットワークの形成
関ヶ原の戦いに関連する博物館等の学芸員における研究状況や展示、収蔵品等に関する情報交換の実施
 - ④関ヶ原研究への興味・関心の向上に向けた活動